

診療日記

ジメジメした毎日が続き、本格的な夏がやってきますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

夏になると熱中症予防に水分補給が大切ですよね。実は体だけではなく口腔内も乾燥します。口腔内の潤いには「だ液」がとても大切です。だ液は口腔内を殺菌して良い状態を保つのに役立ちます。だ液が少ないと口の中が乾燥して粘着しやすくなり、悪玉菌が増えやすい環境になります。だ液を出すためには食事中によく噛むこと、酸っぱいものや苦みのあるものを摂るようにすることで、だ液の分泌が良くなりますよ。

体だけでなく口腔内の乾燥も予防しましょう。

歯科衛生士 荒田紀子

訪問診療部

往診曜日：月曜日から金曜日
往診時間：午前9時半から午後5時



〈お問い合わせ・ご依頼は
下記までご連絡ください。〉

〒191-0011
東京都日野市日野本町3-14-18
谷井ビル2F (1階がセイジョー薬局の建物)
TEL. 042-843-4381 FAX. 042-843-4382
中央本線日野駅 (1分)

医療法人社団芳志会
日野本町歯科医院
HINOHONMACHI DENTAL CLINIC

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	○	○	訪のみ	○	○	○	休	○
14:30～20:00	○	○	訪のみ	○	○	～19:00	休	○

(夏期・年末年始は除く)

<http://www.hino-honmachi-dental-clinic.jp>

～お口の健康と快適な生活のために～

創刊：平成25年1月

歯とお口の健康新聞

令和2年

夏季号
No.31

在宅療養支援歯科診療所/かかりつけ強化型歯科診療所

医療法人芳志会
日野本町歯科医院
HINOHONMACHI DENTAL CLINIC

〈お問い合わせ・ご依頼は下記まで〉
東京都日野市日野本町3-14-18谷井ビル2F
TEL/FAX：042-583-5237
<http://www.hino-honmachi-dental-clinic.jp/>
hinohonmachi-dc@mocha.ocn.ne.jp

目次

- 特別顧問 就任のご挨拶
- 新型コロナウイルス感染症と歯科治療
- 診療日記



毎日暑い日が続き、いよいよ本格的な夏がやってまいりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。一年で一番暑いのは梅雨明けの、この時期といわれております。特にこの時期、必ず耳にする言葉が熱中症です。屋外だけでなく、家の中においても熱中症になる時代です。

特に今年は、新型コロナの影響もあり、マスクをしての外出も増えている事と思います。熱中症予防には、こまめに冷房や扇風機で室温を適度に保つこと、そしてなんといっても水分補給がもっとも大切です。水分補給が上手く出来ないと生命の危険さえも出てきます。水分補給の仕方としては、少量づつこまめに摂ること、水温がだいたい10～15度くらいが胃腸の働きを妨げず吸収しやすいと言われています。

暑い夏を乗り切るためにもしっかりと食事をとり水分補給を心掛けてください。

日野本町歯科医院では、暑さに負けず引き続き皆様のお口のサポートをさせていただきます。

日野本町歯科医院

日野本町歯科医院 特別顧問 就任のご挨拶

皆様には初めてご挨拶いたします。私は深山（ふかやま）と申します。4月より当日野本町歯科医院の特別顧問として、勤務を始めました。「特別顧問は何をするのか？」という疑問が出てくるのは当然です。それを説明するためには、私のこれまでの履歴を簡単にお伝えすることで、ご理解いただけるかと存じます。歯科医になって40年間、患者さんを守るため、また、患者さんが安心して歯科治療を受けられるように、教育、研究、臨床に携わってきました。「患者を守る？」歯科治療を受けるときに皆様はドキドキしたり、不安にかられたりすることがあるかと思えます。特にお体に他の不具合、病気がある場合にはそれが増幅されて、ドキドキがひどくなったり、血圧が上がったりすることがあります。そうならないようにするために、なぜドキドキするのか（研究）、それを防ぐためにはどうしたらよいのか（臨床）に携わってきました。これまでの経験を活かして当医院の安心・安全の歯科治療に貢献します。どうかよろしくお願い致します。



(前) 東京医科歯科大学大学院

麻酔・生体管理学 教授

(現) 東京医科歯科大学名誉教授

日本歯科麻酔学会/認定医 専門医

日本老年歯科医学会/認定医 指導医 専門医

日本障害者歯科学会/認定医

新型コロナウイルスにおける院内対策

日野本町歯科医院は、厚労省の『**歯科外来診療環境体制**』『**かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所**』の基準を満たした**歯科医療機関**です。人員配置や衛生面、履修する研修要件において、国の指定する**厳しい基準をクリア**しております。

社会インフラである**外来歯科診療の体制維持**の為、**新型コロナウイルス対策**のため、**下記の取り組み**を行っております。

対策1 医療スタッフの感染対策の徹底

感染予防のために、スタッフの手洗いとアルコール消毒、マスクの着用を徹底しております。また、ドクター、スタッフの体温測定を毎日実施しております。

対策2 ドアノブや取手、手すりを除菌

室内清掃の時、不特定多数の方が多く触れるドアノブや取っ手・手すり等を、消毒液や次亜塩素酸水で除菌しています。

対策3 空気清浄機を待合室や診療室などに設置

個室診療室を完備しております（社会的距離の確保）。また、待合室や診療室に空気清浄機を設置し、ウイルスへの感染予防をしています。

対策4 治療機器の消毒、滅菌を徹底

過去のSARS流行の頃より院内感染対策を実施しております。治療で使用するドリルや先端（タービン）はお一人おひとり交換、滅菌（熱や薬品による細菌の死滅処理）、消毒を行っています。

対策5 定期的な換気を実施

定期的に換気し、空気の入替えを行っています。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症と歯科治療

医療機関のひとつとして歯科診療所があります。医科の診療所・病院と同様に歯科の外来受診をできるだけ避けた方が安全なのでしょうか？ 答えはNOです。まず申し上げたいことは、**これまでわが国の歯科診療所が新型コロナウイルス感染症と関係があったという報告はないのです**。なぜなら、ほとんどすべての歯科診療所ではこの感染症も含めて歯科処置を行うときに感染対策、つまり清潔に行うことに十分に配慮しているからです。

さらに、もし万一この感染症にかかってしまったときに、口腔という肺（呼吸）の入り口を清潔にしているかどうかで、進行具合に差があると考えられるからです。特に免疫力が落ちている、つまり体力のない高齢者や病気を持っている方は肺炎を起こしやすいので、その入り口、つまり口腔をケアすることはとても重要な要素になり、問題になっている新型コロナウイルス感染症だけでなくすべての感染症に対応できるのです。

実際の対策としては、歯科診療について、かかりつけの歯科医院と相談されることをぜひ、お勧めいたします。

(日野本町歯科医院 特別顧問 深山治久)

日野本町歯科医院での従来からの対応



次亜塩素酸水(※)噴霧による室内の除菌・消臭

※次亜塩素酸水は低濃度の塩水を電気分解した、環境にやさしいウイルスに効果がある除菌・消臭電解水です。

お一人様の治療毎に専用の滅菌機にて滅菌済みの器具を使用しています。

新型コロナウイルス対策



来院された全ての患者様の体温測定をおこなっております。



来院された患者様が治療中マスクを入れる為のビニール袋を差し上げています。